



金井中だより



〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保乙40番地 TEL 0259-63-4107
E-mail kanai-js@sado.ed.jp http://kanai-js.sado.ed.jp/

デジタルとアナログの使い分け

校長 香遠 正浩

夏の8月19日に県内で1日として最多となる4006人の感染確認が発表されました。そのような第7波のピーク時に今学期はスタートしました。

学校では、感染防止の対策と生徒の学びの保障に努めてきました。体育祭、ふれ愛発表会をはじめとした大きな行事をはじめ、教育活動を計画どおりに実施し、無事2学期末を迎えることができました。保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

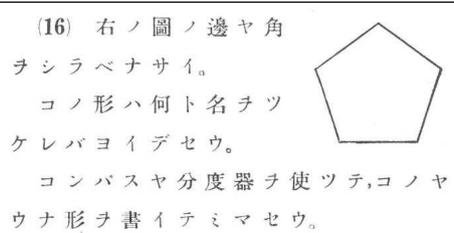
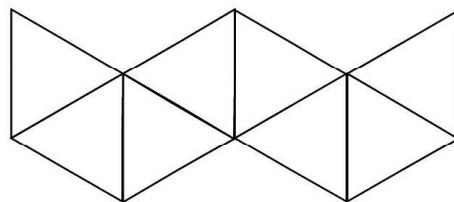
先日、図形の学習をしている1年生に、展開図を切り取って正八面体を組み立てる授業をさせてもらいました。また、正六面体（立方体）の展開図は何通り書けるのか考えさせました。展開図を学習済みの小学4年生以上であれば書けるのですが、大人であっても11通り全てを書き出すのは容易ではありません。なぜなら、落ちや重なりがないように筋道を立てて考える「思考力」を必要とするからです。

右は「尋常小学算術第四学年児童用下」（85年前の算数の教科書）の一部ですが、「調べなさい」、「書いてみましょう」とあるだけで、説明などはありません。

教科書は時代とともに見やすく、分かりやすく、使いやすくなってきました。昨年度から使い始めている現在の教科書には、多くのページにQRコードも掲載されており、図形領域であれば、例えば垂直二等分線の引き方を動画で見ることができます。英語の教科書では、ネイティブな発音を聞くことができます。このように今の教科書は参考書の機能ももっていますので、授業中だけでなく家庭での予習や復習でも有効に活用できます。

インターネットの普及によって、学び方の選択肢が増えました。立方体や正八面体の展開図もネットで検索すれば11通り全ての展開図が出てきます。でも、授業ではそのような学び方はさせません。それでは論理的思考力が育たないからです。目的に応じてデジタル教材とアナログ教材を使い分け、より効果的な学習を促しています。

明日から冬休みですが、家庭においても安易に便利な機器に頼るのではなく、目的に合った手段を選択しながら学習してほしいと思います。

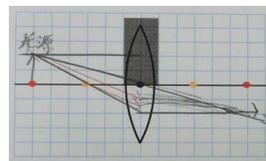


学び合つて思考力を高める授業③

金井中では、思考力や表現力の育成を重視し、「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指して校内研修を行っています。2学期後半の授業の概要を紹介します。

村田教諭 1 A 理科「光の性質」(10月25日)

生徒は凸レンズの上半分を隠すと実像の形や位置は変わらず暗くなることに驚きました。そこで、像が欠けないのはなぜか、なぜ暗くなるのか、図を用いて考えさせました。生徒は、右のような図をかいて、「上半分を隠しても下半分から光が入ってくるから像は欠けない」「レンズを半分隠すと光の数が少なくなるから暗くなる」と説明し合っていました。



市橋教諭 1 A 道徳「公平とは何だろう」(10月27日)

資料で描かれている場面について、どんな場合に公平または不公平になるのか班で意見を出し合いました。生徒は様々な場合を想定し、条件や状況によっては公平にも不公平にもなることが分かりました。

そして、公平な判断をするためには「その人の立場になって考えること、感情で接しないことが大切である」とまとめました。



金山養護教諭 1 B 保健体育「ストレスへの対処の方法」(11月16日)

架空のAさんのストレス事例について、その対処法を考えました。そして班内で「解決につながる方法」「気持ちを変える方法」「実行が難しい方法」の3つにグルーピングしました。生徒は班や全体交流で得た方法を参考に、再度自分自身を見つめ、ストレスとうまく付き合うための「対処行動」や「心のもちよう」について考えを書いていたいました。



宮島教諭 3 B 英語「Lesson5 I Have a Dream」(11月18日)

人権問題に関する英文を読んで、自分の意見と今後の行動を伝えることがねらいの時間でした。生徒は「自分の意見・考え」「その理由・根拠」「今後の行動」についてYチャートにメモした上で、ペアを替えて3回発表しました。生徒は回を重ねるごとに内容を膨らませたり、表現方法を見直したりしながら、相手に向かって自分の考えを発表していました。



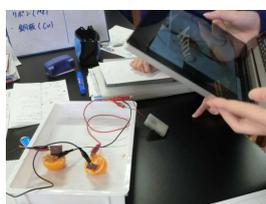
大谷教諭 1 B 英語「学校生活の紹介」(11月28日)

自分の学校生活についてALTの先生に「詳しく伝えるように」説明する英文を書くという課題でした。何をどう説明すればいいか、どんな表現を使えばいいか個人で考え、友達と意見交換しました。それにより、どの生徒も1回目よりも2回目の作文で英文の数が増えました。最後には単語や文法を修正したり、自分の感想等の英文を書き加えたりすることができました。



仲道教諭 3 B 理科「水溶液とイオン」(12月14日)

身近な材料を用いて、自分たちで考えた簡易化学電池を作るという発展課題に取り組みました。ある班は、マグネシウムリボン(Mg)と銅板(Cu)で「みかん電池」を作った後、フライパン・アルミホイル・スポーツドリンクを用いた電池も完成させました。生徒はどうすれば電流が流れ、どうしたら強力な電池ができるか、条件を考えながら実験していました。

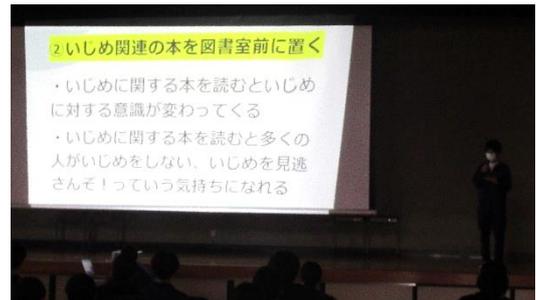


いじめ見逃しゼロ集会

12月15日(木)、『いじめ見逃しゼロスクール集会』を開催しました。全校でいじめ防止について考えを深める、意義のある活動になりました。

最初に、各専門委員会及び各学級から、11月の「いじめ見逃しゼロ強調月間」で取り組んだ活動の発表がありました。それぞれの委員会・学級が成果と課題を報告し、今後につなげようとしていました。

次に、生徒会本部役員がいじめ事案の寸劇を演じ、全校で鑑賞しました。



寸劇①：AとBが話しているところにCが何度も割り込んで話しかける。それを嫌に思ったA・BがCを無視する。その状況をD・Eが傍観している。

寸劇②：サッカーの試合でCがミスをしたためにチームが失点し、そのまま負けてしまう。負けたのはCのせいだとA・Bが陰口を言う。それを聴いたD・Eがそうだ、そうだとはやし立てる。近くに傍観者もいる。

それぞれの劇のあと、全校縦割りの全24グループに分かれ、加害者のどこが悪かったのか、どうすればよかったのか、被害者・傍観者はどんな行動をとればよかったのか等の視点で話し合いを行いました。そして、班の代表者が意見を発表し、全校で考えを共有しました。

寸劇は身近によく起こりうる事案であり、本部役員の演技も上手でとても分かりやすいものでした。本部役員が全校のリーダーとして、問題点や解決策について説明したことも大変良かったと思います。



- その人の言動が誰かを嫌な気持ちにさせたとしても、その人をいじめていいということにはならない。いじめられる側に問題はない。
- 強調月間の取組やこの集会で学んだことをここで終わりにせず、「いじめをしない、見逃さない」ために、これからも日々全校で取り組んでいこう。

集会の中で出た意見で気になったことがありました。それは、「先生に告げ口をしたら大事になった。チクリ魔がいるから関係が悪化した。信頼できる人にだけ相談すべきだ。」というものでした。学校では、いじめを防止するためにチクリは正義である、気付いたことはどんどん教えてほしいと考えています。良くない行いが原因で被害者が苦痛を感じているから関係生徒に丁寧に話をして、問題の解決を図っているのです。悩みがあったら大人に相談すること、いじめ問題の解決に向けてみんなで協力するという雰囲気となることを願っています。



ご家庭でもお子さんといじめについて話をする機会をぜひもっていただきたいと思います。学校(教職員・生徒)と家庭(保護者・家族)、さらには地域(住民)みんなで協力して、いじめ問題に取り組んでいきたいと思っています。

生徒会役員選挙

11月29日、令和5年度の生徒会三役を選ぶために立会演説会と投票が行われました。会長、副会長、応援団長に立候補した5名の生徒とその責任者が、力強く所信表明や応援演説を行いました。



演説会終了後に行った投票の結果、次の生徒が令和5年度の生徒会三役に決定しました。今月5日の

生徒会朝会で認証式が行われ、校長から委任状が渡されました。早速、新本部役員や専門委員長を選出する活動が始まっています。新しいリーダーたちが全校生徒を引っ張り、全校が一体となって金井中学校をよりよい学校にしていくことを期待します。

新生徒会会長 平田 隼龍

私は全校生徒一人一人が自分のもっている最大限の力で何事にも取り組めるよう頑張ります。全員が全力で取り組めば、どんなことでも楽しくなり、明るく過ごしていけると思ったからです。また、あいさつにも力を入れていきたいです。先輩が作り上げてきた今日の文化を引き継ぎ、あいさつも行事や授業も全力でできる金井中学校にしていきます。

新生徒会副会長 児玉 結彩

私は楽しく過ごせる学校を目指します。そのために、引き続き意見箱を設置します。そうすることで、生徒の意見を取り入れ、様々な活動をすることができます。こうして楽しく過ごせる学校を創り上げていきたいです。皆さんが3年間を振り返ったときに、「楽しかった」「面白かった」と思えるような学校にできるよう、頑張っていきます。

新生徒会副会長 北川 陽翔

僕は、生徒一人一人が自分の意見をしっかりとと言えるようになるために、今よりも意見を言いやすい環境にしていきたいです。そのために、意見箱とは別にアンケートをとり、意見を言える回数を増やします。そうすれば、生徒の意見を多く取り入れることができ、皆さんが充実した楽しい学校生活を送ることができると思います。1年間生徒会へのご協力をよろしくお願ひします。

新応援団長 山城 太一

僕は、全校一人一人がしっかりしたあいさつができるようにするために、全校が委員会ごとに1週間交替であいさつ運動することを考えています。あいさつは、言葉で発するだけのものではありません。相手の顔を見ることや表情が笑顔であることなどが大切です。全校一人一人がしっかりしたあいさつができれば、みんなが気持ちのよい学校生活が送れると思います。

~~~~~生徒の活躍の記録~~~~~

○令和4年度中学生人権作文コンテスト佐渡大会（12/1）

・奨励賞 2年：有田 奈汀

○新潟県アンサンブルコンテスト中学校の部（12/10）

・銀賞 金井中学校吹奏楽部（管楽六重奏）

○いきいきわくわく科学賞2022（新潟県児童生徒科学発表会）中学校物理・化学の部

・奨励賞 1年：若林 佐妃 「氷の疑問 解決の実験（たび）」（12/17）

お知らせ

12月29日（木）～1月3日（火）は年末年始休日となります。この期間、学校への電話は留守番電話対応となります。大きな事故などの緊急性が高いものについては、メッセージをお願いします。また、新型コロナウイルス感染症については1月4日（水）で構いませんので、学校へ連絡をお願いします。